

かみいくさかこうちをまもるかい

上生坂耕地を守る会（生坂村）

・組織の活動面積 A= 22 ha

・組織の構成員数 約 67 人

組織形態

農地維持 ■

資源向上(共同) ■

資源向上
(長寿命化) □

取組開始年度

平成26年～

平成26年～

—

構成員

上生坂耕地整理組合、南部水利組合、関屋・旭・原・西手・上手・梅月の6常会、上生坂ほたるの里の会など

組織の概要

私たちの活動地域は中山間地にあり、上生坂耕地整理組合と南部水利組合の区域での活動を行っています。

特に上生坂耕地整理組合は、明治45年に設立、1反区画を基本とした開田、農道や水路づくり、大正2年には蒸気機関による犀川からの揚水が開始され 先進の地として多くの視察者が訪れたとのことです。

その後、電力による揚水や東京電力生坂発電所からの揚水による広域灌漑など 多くの先人により さまざまな活動が行われ 現在に受け継がれています。

近年、高齢化が進み耕作ができない農家が増えており(公財)生坂村農業公社に管理を委託するなど形態が変化しつつあります。その中で多面的機能支払交付金の事業を活用し、農家と非農家の協力により環境の整備を行い、ほたるの生息する農村環境を維持しています。



ほたる祭りで流しソーメンを来場者と楽しむ



水路掃除で用排水路の維持作業



用水路の漏水を止める目地詰め作業



耕作放棄地の調査確認